

日高理事長・学長が テレビ神奈川に出演



創立130周年記念映画『学校をつくろう』のホール上映第一弾が8月27日、創立者の一人である相馬永胤の出身地・滋賀県彦根市のひこね市文化プラザで開催された。原作『蒼鷹の獅子たち』の著者・志茂田景樹氏による講演と映画上映が行われ、市民ら130人が鑑賞した。

創立者の一人 相馬永胤の出身地・彦根で「記念映画」上映



▲ サインする志茂田景樹さん

こうと考えればいいのではないだろうか」と語った。続いて、神山征二郎監督があいさつ。上映終了後には大きな拍手が沸き起こった。

「2011ホームカミングデー」は中止となり、例年、鳳祭の開催期間中に実施してきましが、今年度は東日本大震災で生田キャンパスの「2・3号館の教室・ゼミ室が使用できなくなり、鳳祭で9・10号館を活動拠点とすることにより、従来どおりの10号館で実施することができなくな

- 中止を決定しました。
- 品川支部総会 10月1日(土) 17時開会
 - JR「五反田」駅徒歩5分「パブスナック・あんこう」 園宇治眞人氏 090(7185)8212
 - 富山県支部連合総会 10月1日(土) 16時開会
 - JR「富山」駅車で3分「ANAクラウンプラザホテル富山」 園村一夫氏 0766(56)1200(大間山CC内)
 - 32会総会 10月1日(土) 12時30分開会
 - 専修大学神田キャンパス15階「報恩の間」 園田俊彦氏 047(4388)8154
 - 道庁鳳会総会 10月6日(木) 18時30分開会
 - 札幌市宮地下鉄南北線「中島公園」駅徒歩3分「ホテルライフォート札幌」 園藤浩郎氏 011(231)4111(内線26・381)
 - 葛飾支部総会 10月8日(土) 15時開会
 - 地下鉄千代田線「JR常磐線」金町 駅徒歩2分、京成金町線「京成金町」駅徒歩1分、ウィナシス金町タワーレジデンス2F「二葉会館」 園須藤孝一氏 090(9005)75000
 - 阿賀北支部発足10周年記念総会 10月15日(土) 18時開会
 - JR羽越本線「新発田」駅徒歩18分「金子屋別館」 園久保浩二氏 090(2474)3123
 - 町田支部総会 10月15日(土) 18時開会
 - 小田急線「町田」駅徒歩7分「町田市民ホール」 園松田征士氏 042(797)6205
 - 流通研究OB会 10月20日(木) 16時開会
 - 専修大学神田キャンパス15階「報恩の間」 園高村佳延氏 03(391)5255(柳サカガミ内)
 - 川崎支部総会 10月22日(土) 16時開会
 - JR「武蔵中原」駅前「エポックなかほら」 園浅地究氏 044(788)9855
 - 岐阜連合支部総会 10月22日(土) 13時開会
 - JR「岐阜」駅車で15分「岐阜都ホテル」 園野口晃氏 090(2614)0430
 - 大阪・兵庫合同支部総会 10月23日(日) 14時開会
 - JR「大阪」駅直結「ホテルグランヴィア大阪」 園大阪支部 高松伊太郎氏 06(620)6877
 - 兵庫支部 武田克之氏 078(652)34333
 - 愛知県支部総会 10月23日(日) 12時開会
 - JR「豊橋」駅徒歩10分「ボレロ豊橋」 園竹本一義氏 052(398)3038

7月29日のテレビ神奈川「NEWSハーバー」に日高義博理事長・学長が出演した。写真は、8月4日から横浜スタジアムまで行われた「2011専大カップ」神奈川県学童軟式野球選手権大会(エスアイ・リブレ)の紹介も行った。地域振興された。

10月に校友会岩手県支部連合会主催『学校をつくろう』上映会開催
専大北上高60周年記念

場所：北上市文化交流センター さくらホール (岩手県北上市さくら通り2-11-1) ☎0197(61)33000
入場料：1000円
問い合わせ：校友会岩手県支部連合会 ☎0197(61)2131

専大校友を訪ねて



ラトビア語の通訳・翻訳の第一人者として活躍している。2007年の「天皇・皇后両陛下のラトビア初訪問の際は、通訳を務めた。日本ではあまり知られていないラトビア語の紹介、通訳で活躍

ラトビア語の通訳・翻訳の第一人者として活躍している。2007年の「天皇・皇后両陛下のラトビア初訪問の際は、通訳を務めた。日本ではあまり知られていないラトビア語の紹介、通訳で活躍

「日本語を教える」。現地に手紙を出し、93年、首都リガの日本語学校の教師として着任。そこには手つかずの自然と、素材でいて豊かな文化と暮らしが待っていた。生徒は5歳児から高校生、社会人まで。当時は旧ソ連から独立したばかり。国づくりへの情熱に燃え、急速な経済発展を遂げた日本に興味を持っていった。「授業中は質問攻めにされました」。

「専大校友を訪ねて」登場の黒沢歩さんは、16年間のラトビア滞在の日々を2冊の書に綴っている。「木漏れ日のラトヴィア」(2004年)と「ラトヴィアの蒼い風」(07年) 11いずれも新評論。同国を知るバイブル的書になっている。9月末には、黒沢さんが翻訳の一部を担当した



相模原支部と町田支部が
合同で地元清掃活動参加

神奈川県相模原支部と東京都町田支部のメンバー12人は7月31日、地元は、両市住民の憩いの場。両支部合同参加は初めてのこと。

朝の通勤電車で、肩に大きなバッグをかけた女性と時々乗り合わせる。混んだ電車では背中のリュックや肩にかけたかばんは、前に抱えるように注意を促す駅でのポスターなどを見かけるが、その女性は、いつも携帯電話の操作をしていて、肩からバッグを下ろそうとしない。朝は結構混む電車で、電車が揺れるたびにぶつかるバッグが周囲の人の顔を曇らせているが、それにも気がつかない。注意しようと何度か思ったが、なかなか声が出せない。

文化大臣との出会いが原点

「英語でもいいですよ」と返された。その一言は、旧ソ連などに支配され続け、自国の文化を封じ込

「専大校友を訪ねて」登場の黒沢歩さんは、16年間のラトビア滞在の日々を2冊の書に綴っている。「木漏れ日のラトヴィア」(2004年)と「ラトヴィアの蒼い風」(07年) 11いずれも新評論。同国を知るバイブル的書になっている。9月末には、黒沢さんが翻訳の一部を担当した



両支部の清掃活動合同参加は初めて



振り向いた女性は、最初キョトンとしていたが、自分のバッグが引き起こしている事態に気付くと「あつ。すみません。大丈夫ですか?」

(キャンパスハラスメント 対策室員・古瀬瑞子)